

解答はすべて解答用紙に書きなさい。

〔一〕 次の文章を読んで、(一)～(七)の問いに答えなさい。

ある日、夜勤明けの男が帰宅すると、階段の中ほどに少女が座っていた。

おはようと言つても返事が返つてこないのは分かっている。廊をすり抜けて二階へ上がるには、スペースが狭すぎる。お嬢ちゃん、ちよつとすまないがどいてくれるかな、と言つて無視されたら、ますます事態はややこしくなる。しかしそもそも、彼女は どうしてこんな所に腰掛けているのか？ もしかして自分を待つていたのではないだろうか。いや、待つ必要がどこにある？ (2) こんな自分に、一体、何の用事がある？

男は自問自答を繰り返した。少女を前にすると、なぜか余計なことを考えすぎてしまった。なのに少女が何も悩んでいないように見えるのが、不公平に思えた。天窓から差し込む朝日が、ちよつと彼女の上に降り注いでいた。未亡人はもう販売所へ出勤したらしく、家の中はしんとしていた。

唐突に少女は、男に向けて掌を差し出した。言葉の前置きがないために、男にとつて、彼女のすることはすべてが唐突なのだった。掌には、セミの抜け殻が載っていた。

うん、間違いない。セミの抜け殻だ。よく目をこらして男は確かめた。ここから何かを読み取る必要があるとすれば、これは難問に違いない。まず、もうセミが鳴く季節になりましたね、という時候の挨拶と考えることができる。子供だつて、時候の挨拶くらいはするだろう。あるいは、自慢かもしれない。今年初めてのセミを見つけたのは私だと、自慢しているのだ。もしかすると、自分を驚かせようとしているのではあるまいか？ 急に気味の悪いものを見せて、びつくりさせて、大人をからかおうという魂胆だ。ならばもう手遅れではないか。自分はちつともびつくりなどしなかつた。

改めてよく見れば、少女の手は本当に小さかつた。男が知っている、どんなものよりも小さかつた。掌は、セミの抜け殻一個で一杯になるほどの面積しかなく、指はどれも、これで役に立つのかと心配になる大きさで、爪にいたつては、老眼の目にとつて無いも同然だつた。にもかかわらず、ちゃんと大人と同じ形を持ち、関節も動き、指紋も手相もあることが、不思議だつた。

その手の様子から、セミの抜け殻が単なる挨拶やおどかしでないことが、男にもだんだん分かつてきた。抜け殻の足先一本でも傷つけないようにしようとする緊張が、掌にあふれていたし、息でどこかへ飛んでいかないよう、唇はしつかり閉じられていた。それは彼女にとつてとても大事な抜け殻なのだつた。

少女はそれを、男の胸元に差し出した。

「私に、くれるのかい？」

少女はうなずいた。男は細心の注意を払つて抜け殻をつまみ上げた。あまりにも怪く、間違えて彼女の指をつまんでしまったのかと、錯覚するほどだつた。男が礼を口にするより前に、少女は階段を駆け下りていった。

男はセミの抜け殻を窓辺に飾り、しばらくそれを眺めたあと、ベッドにもぐり込んで眠つた。

男が窓辺で過ごす時間のなかで一番好きなのは、夜明け前だつた。闇が東のふちから順々に溶け出し、空が光の予感に染まりはじめる。一つずつ星が消え、月が遠ざかる。世界がこんなにも大胆に変化しようとしているのに、物音は一切しない。すべてが静けさに包まれて移り変わつてゆく。

少女をまねて、男はセミの抜け殻を手に載せた。これは、プレゼント、というものののだろうか？ 夜明け前の静けさに向かつて、男は問いかけた。かつて自分が誰かから、何かをプレゼントされたことがあつたかどうか、思い出してみようとした。目を閉じ、遠い記憶を呼び覚まそうとしてみた。けれど、何一つ浮かんでこなかつた。

だから男には、このセミの抜け殻が本当にプレゼントなのかどうか、正しく判断できなかつた。自分がプレゼントだと思ひ込んでいただけで、少女の方にはちつともそのつもりがないとしたら大変なので、できるだけ抜け殻のことは考えないようにしているのだが、窓辺に腰掛けると、どうしてもそれを掌に載せてしまうのだつた。

いつの間にか星は残らず姿を消し、朝焼けが広がろうとしていた。生まれたばかりのか細い光が、一筋、二筋、果樹園に差し込んでいた。しかし静けさはまだ、夜の名残に守られ、男の手の中にあつた。抜け殻に朝日が当たるまで、もうしばらくかりそうだつた。

(一) 〓 線部分ア～エを漢字で書け。必要に応じて送り仮名も書け。

(二) 〓 線部分「載つて」について、「載る」の同訓異字に「乗る」があるが、その二つの使い分けを説明せよ。

(三) この文章は、時の経過から考えると二つに分けられる。後半はどこからか。最初の五文字を書け。

(四) 〓 線部分(1)「返事が返つてこないのは分かっている」とあるが、この少女は言葉を発しない。それが分かる部分を十字以内で抜き出して書け。

(五) 〓 線部分(2)「こんな自分」とあるが、どんなことから自分を「こんな」と表現しているのか。男の他者とのかわりをもとに三十五字以内で説明せよ。

(六) 〓 線部分(3)「細心の注意を払つて抜け殻をつまみ上げた」とあるが、そうしたのはなぜか。四十字以内で説明せよ。

(七) 少女に対して、男の心境はどのように変化したか。変化のきっかけを踏まえ、六十五字以内で説明せよ。